

春光懇話会会報
Wave21

2018.11

No. **166**

特集 わが社の企業スポーツ



<http://www.shunko.jp>



トップインタビュー

春光会23社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。今回は日立金属の平木社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。

日立金属 社長 平木 明敏

生年月日 1961(昭和36)年3月2日
 出身地 兵庫県
 出身校 大阪大学大学院金属材料工学科修士課程修了
 略歴 1985年4月 日立金属入社
 2008年6月 日立設備エンジニアリング取締役社長
 2010年4月 日立金属 事業役員
 2012年4月 同社 事業役員常務
 2015年4月 同社 代表執行役 執行役常務
 2015年6月 同社 代表執行役 執行役常務 兼 取締役
 2017年4月 同社 代表取締役 執行役社長 兼 取締役
 趣味 スポーツ観戦(野球など)

—ふるさとの描写を教えてください。近所の子どもたちと遊ぶ環境はいかがでしたか？

幼少期はアメリカに2度長期滞在していました。1度目は幼稚園のころで、テネシー州とケンタッキー州の田舎町に、合わせて2~3年いました。当時は日本人学校もなく、日常的に英語を話していました。田舎で自然環境に恵まれており、弟や近所の子どもたちとアメリカンフットボールのまねごとや、ホタルを追って遊んだことも覚えており、冬場は雪の中で遊んだ記憶もあります。当時は日本人がアメリカに長期滞在する事例は現在に比べ稀で、日本人コミュニティのつながりが強く、集まりも頻繁にありました。

2度目の長期滞在は小学校3~4年時にカリフォルニア州ロサンゼルスに近いパサディナという町にいました。

—小学校の時の交遊関係はいかがでしたか？

当時のアメリカの子どもたちは非常に幼い印象でした。私は日本では運動神経に優れていたわけではないですが、足が速く、球技が得意で、小学3年生ごろは、現地の子どもたちの中でも目立った存在でした。土地柄、新年に催されるアメフトの祭典である「ローズボウル」は記憶に鮮明で、また、野球も好きで、近所の球場にもよく行きました。

帰国後は漢字が苦手な国語が不得意でした。技術者になった理由はそこからです。

—その後の英語力はいかがでしたか？

中学2年生まではクラスでも優秀でしたが、3年生以降は単語が難しくなり次第についていけなくなりました。当時の英語の価値は現在ほどではなかったため、グローバル化が進むと思うことは、英語力を維持する努力をもっとしておくべきでした。ヒアリングと発音の力は、今もある程度持続しており、ネイティブとの会話の時によく褒められますが、

実のところ語彙力がなく、言葉を発するときに苦みます。

—日本での幼少時代のご記憶は？

帰国後は西宮にいました。今も体は大きくないですが、当時はとにかく華奢でした。加えて、海外に長期でいたため、遠慮がちな性格で活発な人間ではなかったです。

在米時の大リーグに影響され、帰国後はとにかく野球が好きになりました。プレーもしていましたが、高校野球に特に熱中しました。作新学院のスターである江川選手と対戦した広島商業ナインの、「柔よく剛を制する」スモールベースボールに面白みを感じたのがきっかけです。そこからの広島つながりでカーブを応援し始め、2~3年経った昭和50年にカーブはリーグ初優勝を果たしました。以降一貫して広島カーブファンです。

—中学、高校時代の思い出は？

父が大阪大学(阪大)の教授だったので勉学へのプレッシャーが強く、非常にこたえました。しかし、大学受験は偶然共通一次元年の年で幸運に恵まれ、本試験でも試験科目や倍率の影響などでチャンスが重なり、念願の阪大への合格を果たしました。

—進学された金属学科以外に選択肢はありましたか？大学生活の思い出は？

理系でも数論を扱う物理は苦手な、機械工学は合いませんでした。また、電気関連は当時異常な高倍率で、検討の範疇から外れていました。どんな学問かは不明でしたが、金属に苦手な印象はなく、また、父に相談のところ基幹技術の観点からも勧められ、結果、選ぶことにしました。就職もその流れです。

大学では、所属した準硬式野球部での経験が、

聞き手…春光懇話会 浅井事務局長

人間形成に役立ちました。阪大が所属するリーグは強豪ひめぎ、特に私立校は、高校時代に甲子園出場実績のある優秀な選手が多く在籍していました。彼らとの試合に向けて鍛錬を積み重ね、勝負できるほどにプレーの質を上達させました。私は、打順1番のセカンド守備で、このリーグでベストナインに選ばれたこともあります。

大学時代は部活のため就職活動が遅れて大学院への進学を考えました。しかし、成績が振るわなかったため、受験のために夏休み中徹夜で勉強し続け、やっとの思いで進学を叶えました。進学が決まった後は、運命的な研究室に会い所属することとなりました。オープンマインドで、コミュニケーションも活発な研究室で、先生は勉強以上に人間形成を優先する教育スタイルであり、楽しくかつ自由に研究ができました。

このころは、引退した準硬式野球部に赴き、監督業もしました。興味本位で挑戦しましたが、指揮官に求められる課題は経営者のそれと通じており難しく、判断を誤ると瞬く間に追い込まれました。約1年間指揮し、勝つことは稀でしたが、とてもよい思い出です。大学から院にかけてのアクティブな生活をとおし、性格も社会的に変わっていきました。

—入社後の配属や研究エピソードは？

当時の日立金属は、熊谷の磁性材料研究所のPRが多く、学生にとって「磁性材料=新素材」のイメージがあったことや、就活時に同研究所を見学していたこともあり、志願したら運よく叶いました。3年間は磁性材料研究所で、希土類磁石やナノ結晶軟質磁性材料を研究しましたが、新米なので先輩の指示を愚直にまっとうし、モノづくりのノウハウを叩き込みました。今でも希土類磁石は自らの手でつくれます。

その後、島根県の安来工場ですパッタリングターゲット材の研究に取り組みました。当時の日本は半導体技術に強く、研究者でありながらも、勤務日の半数はお客を訪れ、この高い技術的ニーズに応えるべく、試行錯誤の努力を日夜重ねていました。この研究者とビジネスマンの両輪の仕事と、現場でのモノづくりをまい進していくうちに、「どうモノづくりをしたら売れるか？」に興味湧いていきました。この経験はその後の人生の確かな糧となっています。ちなみに、日立金属のマネジメントは現場と近く、私自身現場が好きで現場・現物主義者で、明日も工場に行ってきます。

—会社生活のターニングポイントは？

海外で子会社を起業したことです。スパッタリングターゲット材は、当初はなかなか利益が出ず苦しんでおり、安来工場のモノづくりの本流ではないことから、撤退の話も出ていました。しかし、私はこの事業に勝負をかけ、新規の液晶向け大型



▲アメリカでの幼少期(左から2番目が平木社長)



▲関西地区六大学リーグでのプレー(於西京極運動公園野球場)

品の需要の波を取り込むよう努めました。安来工場は大型品の製造が得意でしたが、当時、液晶は韓国・台湾の需要が多かったため、素材は安来で作り、需要にタイムリーに応えられる台湾現地に後工程の拠点をつくりたいと決心しました。この計画を推進したことで、当社のターゲット材事業は大きく成長しました。

製品が大好きで成功させたい気持ちと、関係した仲間を幸せにしたい気持ちで、気迫を込めて仕事に取り組んだことが奏功しました。その子会社では経営者となり、そこで得た知見が今も生きています。

—若手へのアドバイスとメッセージをお願いします。

まずは、皆さんが扱う商材や、働く会社に自信を持つことが大切です。私の信条は、どんな立場や職場であれ、前向きな姿勢でとにかく最善を尽くすことです。これは、大学時代の部活や研究室で得た、「仲良く、一緒に、前向きに取り組もう!」という姿勢が、これまでの人生で一貫して心に生き続けていることからです。また、信念は、常にお客様のことを考える「ビジネスマン」であることと、負けず嫌いなことです。

会社人生が順調な皆さんは、チャンスを見極め、その波に乗りながら目標にまい進してください。少し伸び悩んでいる皆さんは、周りに責任を転嫁せず、今ある立場で前向きに励むことが大切です。「負けたくない!」という気持ちで仕事に立ち向かってください。

最後に、仕事に取り組む上でのヒントを3つお伝えします。1つは動機が純粋であることです。「製品が好きだから成功させたい」、「仲間を助けたい」という純粋な気持ちが、あなたの仕事への求心力をより高めます。2つ目は、具体的に思考することです。具体的な考えに基づいて、あなたが誇れ、あなたにしかできない仕事をしてください。3つ目は、どんなに小さくても勝負をすることです。考えなしで戦いに挑むと負けるように、勝負の限りには、自身が強くなるべきで、強くなるためには勉強をすることが求められます。

平成30年度 会員総会

9月3日(月)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。今年度は会員会社134社の役員など、約230名の方々が出席されました。



ご挨拶

春光会・春光懇話会会長 JXTGホールディングス名誉顧問
高萩 光紀

高萩でございます。本日はご多用のところ、平成30年度春光懇話会総会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

最近の世界情勢について一言お話しさせていただきます。本日の日本経済新聞紙上でも2面にわたって特集が組まれておりましたが、2015年9月、国連サミットにおいて「SDGs」、すなわち「持続可能な開発目標」が採択され、企業経営にも「持続可能性」の観点が強く求められるようになってきています。また、同年12月、COP21において、パリ協定が締結され、SDGsの中でも重要テーマとされる気候変動に関し、国際社会が協力して、低炭素社会の形成に向けて取り組む動きが加速しました。世界の投資家や各企業においては、低炭素化にとどまらず、「脱炭素化」に向けて踏み出す動きも出てきています。現実問題として、今年の日本の猛暑や世界中で発生している異常気象を考えますと、CO₂削減など、地球温暖化防止に向けた取り組みは、待ったなしの状況にあると感じております。

一方、IoT、AIといったイノベーションは日進月歩で進化しており、乗用車等の自動運転をはじめ、10年前には想像もしなかった技術が世の中を大きく変えようとしています。我々は、非連続的かつ劇的な変化の局面、まさにパラダイムシフトに直面しています。このような局面において、国内でも時代が大きく動いて



会員総会

います。

5月には、日立製作所の中西さんが経団連会長に就任され、新たな体制がスタートいたしました。私どもも新体制には大いに期待しているところでございます。また、今月は、自民党総裁選が予定されております。

そして、来年は天皇陛下御退位・皇太子さま御即位、新元号のスタートなど「節目」となるイベントが集中しています。さらに再来年2020年は東京オリンピックが予定されており、レガシー構築に向けた機運も一層高まるものと期待されます。

さて、春光懇話会の方に話を戻しますと、この10月1日付で、海外春光懇話会の27か所目となる「南アフリカ春光懇話会」が南アフリカ共和国ヨハネスブルグに設立されることとなりました。国内の地域春光懇話会が52か所ですから、その過半を上回るまで、海外春光懇話会が設立されることとなります。これは会員各社の事業が一層グローバルに伸張している証左であり、誠に喜ばしい限りです。国内・海外ともに会員各社のさらなるビジネス交流をお願いしたいと思います。

次に、春光懇話会の活動ですが、会長・副会長・春光会会社の役員から構成される事業協議会が中心、と常々申し上げておりますが、今年度も会員会社相互の



懇親会

発展および親睦を図るために必要な重要事項を協議し、各社持ち回りの談話も活発に行っていました。

また7月11日には、春光会23社を超えて会員全体を巻き込んだ横断的な情報交換の場として2003年から開催しております全体セミナーを今年も開催し、「ビッグデータの活用」をテーマに親睦・交流をはかりました。

また、結婚相談所である「ファミリークラブ」も春光グループ企業の福利厚生として、安心できる出会いの場を提供し続けており、平成30年4月～7月で2組のカップルが誕生しています。みなさまからもぜひ社員やご家族・ご親類のみなさまにご推奨いただきたいと思います。「説明を聞くだけ」でも大歓迎ですので、事務局までお問合せ願います。

一方、春光会会員の異動ですが、損害保険ジャパン日本興亜 土肥様、JX石油開発 三宅様、日本水産 大木様、ニチレイ 浦野様、日立金属 高橋様、日立化成 長瀬様の6人が退会されました。この方々には春光会の発展のため大きな貢献をしていただきましたことに心から感謝したいと思います。新会員として、JXTG エネルギー 大田様、JX石油開発 細井様、日本水産 的埜様、日油 宮道様、日立ハイテクノロジーズ 北山様、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険 大場様、NIPPO 吉川様のお迎えすることとなりました。新会員のみなさまには本会のさらなる発展にぜひともご尽力をお願いしたいと思います。

ところで、年始の賀詞交換会の挨拶でもご案内した新田次郎の小説「ある町の高い煙突」を原作にした映画の制作については、春光各社の絶大なご支援により順調に製作が進み、来春にはよいよロードショーと



乾杯
春光会会員
春光懇話会副会長
日本水産 垣添特別顧問



中締め
春光会幹事
春光懇話会副会長
損害保険ジャパン日本興亜
二宮会長

なります。この場を借りて御礼を申し上げますとともにぜひとも封切りの折は映画館にお運びの上、ご高覧を賜りたくお願いさせていただきます。本日は、映画監督の松村克弥さんにお越しいただいており、後ほど一言ご挨拶をいただくことにしております。

最後になりますが、本日で参集のみなさま方のご健勝と会員各社のご繁栄をお祈り致しまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

＜次第＞		
総会	司会	浅井事務局長
1. 挨拶	春光会・春光懇話会会長	JXTGホールディングス 高萩名誉顧問
2. 紹介		
【春光会新会員】		
JXTGエネルギー		大田社長
JX石油開発		細井社長
日本水産		的埜社長
日油		宮道社長
日立ハイテクノロジーズ		北山会長
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険		大場社長
NIPPO		吉川社長
【地域春光懇話会会長】		
秋田春光懇話会	秋田日産自動車	三浦会長
福島春光懇話会	福島日産自動車	金子社長
茨城春光懇話会	センター電機	三代社長
埼玉春光懇話会	UDトラックス	櫻井VP
信州春光懇話会	マナテック	堀江会長
大阪春光懇話会	日立造船	古川相談役
懇親会		
3. 乾杯	春光会会員・春光懇話会副会長	日本水産 垣添特別顧問
4. 中締め	春光会幹事・春光懇話会副会長	損害保険ジャパン日本興亜 二宮会長

春光会会員名簿 2018年11月1日現在

会社名	役職	氏名
(株)日立製作所	会長	中西 宏明
	社長	東原 敏昭
	☆名誉相談役 ○名誉会長	庄山 悦彦 川村 隆
日産化学(株)	社長	木下 小次郎
SOMPOホールディングス(株)	社長	櫻田 謙悟
損害保険ジャパン日本興亜(株)	◇会長 社長	二宮 雅也 西澤 敬二
日産自動車(株)	会長 ○社長 取締役	カルロス ゴーン 西川 廣人 志賀 俊之
JXTGホールディングス(株)	会長	内田 幸雄
	社長	杉森 務
	相談役	松下 功夫
	相談役	木村 康
	名誉顧問	西尾 進路
	○名誉顧問 名誉顧問	高萩 光紀 渡 文明
JXTGエネルギー(株)	社長	大田 勝幸
JX石油開発(株)	社長	細井 裕嗣
JX金属(株)	社長	大井 滋
日本水産(株)	会長 社長 特別顧問	細見 典男 的埜 直也 垣添 直也
日油(株)	会長 社長 相談役	小林 明治 宮道 建臣 大池 弘一
(株)ニチレイ	会長 社長	村井 利彰 大谷 邦夫
日立造船(株)	会長兼社長 相談役 名誉顧問	谷所 敬 古川 実 安藤 重寿
日立金属(株)	社長 名誉相談役	平木 明敏 藤井 博行
日立化成(株)	会長 社長 名誉相談役	田中 一行 丸山 寿 内ヶ崎 功
UDトラックス(株)	社長	酒巻 孝光
日立建機(株)	会長 社長 相談役 名誉相談役	石塚 達郎 平野 耕太郎 辻本 雄一 木川 理二郎
日立キャピタル(株)	◇会長 社長	三浦 和哉 川部 誠治
(株)日立ハイテクノロジーズ	会長	北山 隆一
	社長	宮崎 正啓
	相談役 名誉相談役	久田 眞佐男 大林 秀仁
日産車体(株)	社長 名誉顧問	木村 昌平 渡辺 義章
(株)日立物流	社長 名誉相談役	中谷 康夫 鈴木 登夫
損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命保険(株)	会長 社長	高橋 薫 大場 康弘
(株)NIPPO	会長	岩田 裕美
	社長 相談役	吉川 芳和 水島 和紀

〔注〕 ☆顧問 ○会長 ○副会長 ◇幹事

事業協議会会員名簿 2018年11月1日現在

会社名	会員名
(株)日立製作所	代表執行役執行役専務 津田 義孝 執行役常務 内藤 理
日産化学(株)	取締役副社長 宮崎 純一 取締役常務執行役員 瀧下 秀則
損害保険ジャパン日本興亜(株)	常務執行役員 西脇 芳和 常務執行役員 水口 敦志
日産自動車(株)	専務執行役員 川口 均 理事 渉外担当役員 石井 裕晶
JXTGホールディングス(株)	取締役常務執行役員 安達 博治 取締役常務執行役員 田口 聡
JXTGエネルギー(株)	取締役常務執行役員 横田 宏幸 取締役常務執行役員 保谷 尚登
JX石油開発(株)	取締役副社長執行役員 大橋 秀俊 取締役常務執行役員 辰巳 久雄
JX金属(株)	取締役常務執行役員 太田 達二 執行役員 黒岩 源洋
日本水産(株)	取締役常務執行役員 山本 晋也 執行役員 黒田 哲弘
日油(株)	取締役兼常務執行役員 井上 賢吾 取締役兼常務執行役員 坂橋 秀明
(株)ニチレイ	取締役執行役員 金子 義史 取締役執行役員 大籾 顕也
日立造船(株)	代表取締役副社長 三野 禎男 取締役 芝山 直
日立金属(株)	代表執行役執行役専務 西家 憲一 執行役常務 田宮 直彦
日立化成(株)	執行役常務 山下 祐行 執行役 藤田 茂
UDトラックス(株)	バイスプレジデント 櫻井 浩司 バイスプレジデント 金丸 隆宏
日立建機(株)	代表執行役執行役副社長 住岡 浩二 執行役専務 藤井 宏豊
日立キャピタル(株)	執行役専務 白井 千尋 執行役常務 大橋 芳和
(株)日立ハイテクノロジーズ	執行役専務 佐藤 真司 執行役常務 田嶋 浩
日産車体(株)	取締役 専務執行役員 小滝 晋 常務執行役員 牛込 正明
(株)日立物流	執行役常務 佐藤 清輝 執行役 萩原 靖
損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命保険(株)	取締役常務執行役員 近藤 充弘 執行役員 中村 成志
(株)NIPPO	代表取締役 執行役員副社長 高橋 章次 取締役常務執行役員 宮崎 匡弘



特集 わが社の企業スポーツ

日本で開催されるさまざまな世界的スポーツイベントを前に、スポーツ熱がますます高まっています。今回の特集では、一部ではありますが、さまざまなジャンルで活躍する、春光グループ各社のスポーツ活動をご紹介します。

日立キャピタル

プロゴルファー片岡大育選手と所属契約

2018年1月、当社はプロゴルファー片岡大育（だいすけ）選手と所属契約を締結しました。

日立キャピタルの所属選手として、日立キャピタルのロゴ入りキャップ、サンバイザー、キャディバッグなどを着用・携行し、国内外のトーナメントに出場しています。

片岡選手は、アマチュア時代から輝かしい功績を残し、「2015年 関西オープンゴルフ選手権競技」ではプロ初優勝、「2016年 トップ杯東海クラシック」、「2017年 アジアパシフィック ダイヤモンドカップ」でも優勝するなどの好成績を収めています。平均パット数やショートゲームの精密さは国内トップクラスです。

現在、アジアツアーの出場権を得て、海外のトーナメントに積極的に出場している片岡選手。海外への遠征の際には、当社現地法人がサポートを行っています。エリアによっては、日立グループ各社にご協力をいただくなど、片岡選手がプレーに集中できるように可能な限りお手伝いをしています。そしてまた、日本でのトーナメント出場の際には、社内でチケットプレゼント企画を実施し、社員が会場に駆け付けるなど、全社をあげて応援しています。

日立キャピタルオフィシャルHP（片岡選手サイト）

http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/company/daisuke_kataoka/



▲片岡大育選手

ゴルフでのストイックな姿勢とは反対に、素顔は冗談が好きで愛嬌たっぷり、とても魅力的な片岡選手です。そして、当社のオフィシャルサイトでは、そんな片岡選手の姿を紹介した特設ページがありますので、ぜひご覧ください。みなさんもぜひ応援をお願いします！

文：山口 浩美



▲中国現地法人（日立租賃（中国）有限公司）の社員と一緒に



▲キャディバッグはロゴ入り

日立建機

みんなで夢の舞台へ!!

当社には、2020年東京オリンピック、パラリンピック出場をめざす2名のアスリートがいます。

1人目は、日立建機クレー射撃部の中山由起枝（なかやまゆきえ）選手です。シドニー、北京（4位入賞）、ロンドン、リオデジャネイロと4回、日本代表としてオリンピックに出場しているわが社のオリンピック選手です。クレー射撃競技は、散弾銃を用いてクレーと呼ばれる素焼きの皿を撃ち壊していく競技です。競技は、屋外で行われ、トラップ、ダブルトラップ、スキートの三つの種目に分かれていて、中山選手は女子トラップ競技の選手です。東京オリンピックでは、男女それぞれの選手が交互に撃ち合計点数を競う、「男女トラップミックス競技」が新しく正式種目として追加されましたので、中山選手は、女子トラップ競技と併せて2種目の競技の出場枠獲得をめざしています。

2人目は、パラサイクリングの藤田征樹（ふじたまさき）選手です。北京、ロンドン、リオデジャネイロ

イロパラリンピックの自転車競技日本代表で、三大会連続でメダルを獲得したメダリストです。北京大会のメダル獲得は、全競技を通じて義足を活用した日本人として、初めてのパラリンピックにおけるメダル獲得で、わが社が誇るパラリンピアンです。藤田選手は、屋内に作られたバンクを周回するトラック競技や、屋外で行われるロードレース、ロードタイムトライアルなどさまざまな種類のレースに出場しています。

現在、両選手とも東京オリンピック、パラリンピックの出場枠獲得をめざし、日々の練習はもちろん、各国際大会にチャレンジし活躍しています。今後も日立建機グループ一丸となって、両選手を応援し、盛り上げていきたいと思っておりますので、春光懇話会の仲間としてみなさまも熱いご声援をどうぞよろしくお願い致します!!まずはぜひ実際の競技を観に来てください!!

文：加藤麻美子



▲中山由起枝選手



▲藤田征樹選手



◀当社内で実施したリオデジャネイロオリンピック、パラリンピックの両選手合同の壮行会

JXTG ホールディングス

大きな期待を背負った当社の企業スポーツ

当社の企業スポーツは、1950年に創部の硬式野球部と1969年創部の女子バスケットボール部です。野球部は、社会人野球の祭典『都市対抗野球大会』優勝11回、女子バスケットボール部は国内最高峰『Wリーグ』優勝22回（現在10連覇中）と、共に最多優勝を誇り、日本を代表する選手を多数輩出する強豪チームとなりました。

両運動部の試合には、会社をあげた応援活動を展開します。応援席を従業員、グループ関係者、お取引先とご家族で埋め尽くし、チーム名を叫び、応援グッズを掲げ、応援歌を歌い、選手を鼓舞します。初めて応援観戦する者は多少戸惑うところもあるのですが、試合が終わるころには、勝利の喜びを分かち合い、語りあえる運動部応援メンバーの仲間入りとなります。これまで、たびたび会社統合をしてきた当社ですので、社内融和策の1つとし

て、またお取引先を含むグループ会社全体の一体感醸成を図るために、このような応援活動を展開しています。4月から11月は野球、10月から3月はバスケットボールのシーズンですので、年中行事として楽しく取り組んでいます。

シーズンオフになると、社会貢献活動の1つとして、地域社会とのコミュニティーや次世代育成を目的に、選手自ら指導者になった野球教室やバスケットボールクリニックを開催しています。選手は子供たちと接することで、競技の原点を見直すきっかけとなると積極的に取り組んでいます。

何れもチームが強いからこそ行える活動であるため、両運動部に対する社内外からの期待は選手がプレッシャーに感じるほど?大きいものとなっています。両運動部への熱いご声援をよろしくお願い致します。

文：野島 正弘



▲野球部チーム応援席@東京ドーム



▼バスケット部表彰式後、優勝記念撮影@代々木第2体育館



▲バスケットボールクリニック@掛川



▲バスケットボールクリニック@青森

日立物流 陸上部

届けるために走り続ける。想いを、夢を、未来を。

日立物流陸上部は2012年に日立電線(現日立金属)マラソン部を譲り受け、当社のシンボルスポーツとして発足しました。ケニア人選手2名を含む15名の選手たちが駅伝やマラソン大会、またトラックの中・長距離レースで活躍しています。

・「心運ぶ」日立物流

陸上部のキャッチフレーズは「届けるために走り続ける。想いを、夢を、未来を。」。物を運ぶことを本業としている当社はただ荷物を届けるだけではなく、荷主の想いを先方へ届ける、いわゆる「心運ぶ」心意気で業務に取り組んでいます。駅伝の「たすき」には仲間の想いが込められており、仲間のために懸命に走るランナーの姿は、私たちの理想を体現しています。

・決戦は1月1日 ニューイヤー

陸上部は元旦早朝から開催されるニューイヤー駅伝(全国実業団駅伝)に6年連続6回の出場を果たしております。帰省中で元旦の朝は時間を持て余して

いるみなさん、大晦日に夜更かしして寝正月で家でテレビを見ているみなさん、もちろん初詣に行かれるみなさんも、ニューイヤー駅伝の中継でランナーたちの勇姿を見て、テレビの前から声援を送ってください。抜きつ抜かれつのデットヒートが繰り返され、元旦から盛り上がること間違いありません。

・世界の舞台をめざして

陸上部の目標は「個の力」の充実。オリンピックや世界陸上といった世界大会にチャレンジできる選手を育成することです。選手たちは世界での活躍をめざして日々研鑽を積んでいます。各種大会のテレビ中継を通して、また、ご近所で当社の選手を見かけたら、ぜひ応援してください。みなさんの声援を追い風にしてランナーたちは自らの限界を越えて、未知の領域へ到達できるよう全力で挑み続けます。

文：稲野邊 聡



▲ニューイヤー駅伝4区・日下選手を応援



▲日本選手権・浅岡選手



▲日本選手権・市川選手



▲東日本実業団駅伝6区・柳選手を応援



▲日立物流 陸上部

日立ハイテクノロジーズ

「飛躍」をスローガンに、勝利をめざす

日立ハイテクでは、企業スポーツとして女子バスケットボール部「クーガーズ」を運営しています。「クーガーズ」は、1961年の創立以来、会社のシンボルスポーツとして社員とともに歩んできた歴史あるチームです。社内の有志で構成された応援リーダーを中心に、後援会会長である宮崎社長ら役員をはじめとして、当社を含む国内グループ会社全体で積極的に試合の応援に駆け付け、グループ全体の連帯感を深めています。

所属するWリーグ(バスケットボール女子日本リーグ)の2017-2018シーズンでは、「飛躍」をスローガンに、目標としていたクォーターファイナルに進出、現在のWリーグ(12チーム体制)になってから、初のベスト8入りを果たすことができ、大きく成長できた一年となりました。

オフシーズンには、バスケットへの興味・関心を持ってもらうために、社会貢献活動として支店・事業所など拠点のある各地域の小・中学校等において、バスケットボールクリニックを開催しています。ボールを使った遊びやバスケットの基本である、シュート、パス、ドリブルやディフェンスの練習などを通じて、子どもたちが一生懸命に取り組む姿や楽しそうな笑顔に触れることができ、選手たちも大いに刺激を受けています。

10月から2018-2019シーズンが開幕しました。今シーズンは昨年の経験を生かし、「クォーターファイナルでの勝利」を目標にしています。春光グループのみなさまも、ぜひ「クーガーズ」の応援をよろしくお願いいたします!

文：荒 里枝

クーガーズ Webサイト

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/about/ad/sponsor/cougars/>



▲今シーズンはこのメンバーで勝利をめざします



▲応援リーダーとマスコットキャラクターの「クーちゃん」



▲小学校でバスケットボールクリニック

新製品・新商品 紹介

日立アプライアンス

さまざまな場所を立体おそうじ。
コードレスでもメインで使える強力パワー。

当社は、強力パワーのコードレススティッククリーナー「パワーブーストサイクロン」PV-BFH900を発売しました。



ルビーレッド (R) シャンパンゴールド (N)

問合先 お客様相談センター TEL 0120-3121-11

共働き世帯の増加などの社会背景から「使いたい時にすぐ使えて、手軽に掃除を済ませたい」などのニーズが高まり、コードレススティッククリーナーの需要が拡大しています。一方で当社調査によると「使用できる時間が短い」、「壁ぎわ・隅掃除がしにくい」といった不満があることも分かりました。

本機種は多彩なツールを組み合わせることで、床だけでなく、高いところや狭いところなどさまざまな場所を立体的に掃除できます。加えて本体ハンドルを握ったまま付属のツールを簡単に着脱できる「サツと着脱ボタン」を採用しました。

小型・軽量で効率を高めた「小型ハイパワーファンモーターX(エックス)4」により、コードレスでもメインで使える強力パワーを生み出します。連続使用時間は標準運転で約40分、パワーブラシを使用しない場合は約60分使えます。

床用の吸口、新「パワフルスマートヘッド」は、日立独自の「ダブルシンクロフラップ」を採用。押したときも引いたときもしっかりごみを吸引します。また、「きわびた構造」で、取りにくい壁ぎわのごみもすっきり吸い取ります。

これら、メインの掃除機として使える新しいコードレススティッククリーナーを提案します。



床おそうじ 高いところ

携帯電話・PHSから050-3155-1111(有料)

日立製作所が連覇 —第59回 春光懇話会ゴルフ選手権—

9月1日(土)、小山ゴルフクラブにおいて第59回春光懇話会ゴルフ選手権が開催されました。本選手権は、スクラッチ競技の会社対抗団体戦(4名/社)で、12社が出場し熱戦が繰り広げられました。結果は、日立製作所が、個人成績でも優勝、4位、8位を獲得する強力メンバーの活躍により、見事、連覇を飾りました。準優勝は第54回から56回に3連覇を果たしたJXTGエネルギー。第3位には第57回優勝の日立造船が入りました。来年以降もさらに熱戦が期待される大いに盛り上がった大会でした。

優勝	日立製作所	332ストローク
準優勝	JXTGエネルギー	346ストローク
第3位	日立造船	350ストローク



▲連覇の日立製作所チーム



おすすめグルメ



WINE FACTORY 虎ノ門ワインファクトリー 日立ハイテクノロジーズ

西新橋・虎ノ門界隈は、ここ数年、毎日がスクラップ&ビルドで町の様子刻々と変化しています。今回は、本社から徒歩3分、2014年に完成し、この地域のランドマークになった虎ノ門ヒルズで味わえる90分食べ放題のランチをご紹介します。メインディッシュに前菜ビュッフェとドリンクバーが付くメニューは、前菜が週替わりで、冷・温菜が各3品。ボリューム満点で、ついお皿に盛りすぎてしまいます。ドリンク類も充実しているので、毎回お昼休みを延長したくなる素敵なお店です。



▲ランドマークの虎ノ門ヒルズ



▲窓が大きく、開放的な店内

WINE FACTORY 虎ノ門ワインファクトリー

東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー2F

☎03-5157-5566

銀座線虎ノ門駅から徒歩5分 日比谷線神谷町駅徒歩6分

ランチ 11:00~15:00(L.O.14:30)

ディナー 17:00~23:00(平日L.O.22:30)



▲ビュッフェも充実



▲ドリンク類も豊富



▲数量限定のローストビーフ丼

Dhaba India (京橋)

日産化学



▲おすすめの三色カレー (¥1,050)



▲本日のカレー (¥850)



▲ランチミールス (¥1,250)

驚異の食べログ3.94! 日本仕様になっていない本格的な南インド料理が堪能できます。そして、鮮やかな碧の土壁で囲まれた店内は、日本にいることを一瞬忘れさせてくれます。

ランチメニューは、本日のカレー(3種類から選べます)、三色カレー、ランチミールス(スープ等が付く)、ドーサランチ(クレープが付く)の4種。ナンあるいはライス・揚げパンが選べます。

2030年の世界人口は85億人。このうちインドの人口は、中国を抜いて世界1位の15.1億人になると言われています。すなわち、世界の約18%がインド人ということです。今のうちにおすすめのインドカレー屋さんを知っておかないと会話に困りますよ(笑)。



▲鮮やかな碧の外観

Dhaba India (ダバ インディア) 東京都中央区八重洲2-7-9

☎03(3272)7160 東京メトロ銀座線「京橋駅」5番出口より徒歩1分

JR「東京駅」八重洲出口より徒歩6分

【月~金】11:15~15:00(L.O.14:30) 17:00~23:00(L.O.22:00)

【土・日・祝】12:00~15:00(L.O.14:30) 17:00~22:00(L.O.21:00)

営業部会だより

詳しくは営業部会HPをご覧ください
→http://www.shunko.jp/eigyoeigyobukai_top.html

2018年 10月～12月 第19回春光懇話会
キャンペーン展開中

春光懇話会会員会社にお勤めの従業員、ご家族のみなさまにお買い得商品を会員限定価格でご提供いたします。社内配布されましたパンフレットやホームページでお確かめの上、ぜひご用命ください。

また企業向け商品、サービスも同時にキャンペーン展開します。担当が貴社を訪問した際には、ご高配のほどお願い申し上げます。



キャンペーン 決起大会 9/12(水)



▲決起大会 第1部 ▲普欄キャンペーン 実行委員長 ▲和気副委員長 ▲松村リーダー



▲全員確認事項 川崎部会長代理 ▲保谷部会長 挨拶・乾杯 ▲松本副部会長 中締め ▲事務局挨拶 浅井事務局長 ▲事務局連絡 横井事務局次長

各社 PR・展示即売会



ミニ展示即売会



10/16 JXTGエネルギー 10/24 クラリオン 10/30 日立製作所 11/5 サッポロビール



“そろそろ結婚を♡”とお考えのみなさま
“結婚適齢のご家族”をお持ちのみなさま
“婚活”はじめませんか!

出会いはありますか?

「いずれは」も含めると、独身男女の95%以上の方が「良い相手がいれば、結婚したい」と答えています。しかし、年々、結婚平均年齢は高まっており、非婚比率も増え続けています。非婚でいる理由の第1位は「出会いがない」「相手に巡り合えない」です。

今の世の中、じっと待っていても、良いパートナーに巡り合う機会は、なかなか無いものです。

- ・春光懇話会ファミリークラブの入会金は2年間で1万円です。成約時お1人7万円。それ以外の費用は一切ありません。
- ・5人のカウンセラーが親身に、会員のみなさまをフォローします。
- ・年間約300組のお見合いがされています。

当クラブの特徴

1. 「安心です」会員を春光懇話会会員会社に関わる方に限っています。
2. 「プライバシーは厳守されます」会社にお知らせすることはありません。
3. 「入会金は1万円です」2年間有効。成約時お1人7万円、この他費用はかかりません。そろそろ結婚をとお考えのみなさま、今すぐ行動してください。
4. 「入会手続きは簡単」☎03(3344)0410(ヨイエ)または<http://www.shunko.jp/family/family.html>にアクセスし資料請求・来所予約をしてください。

“見学のみ、説明を聞くだけ”も大歓迎です。
グループのみなさまに、もっともっとあたり前の
ように活用していただきたいと願っています。



スタートはいつも出会いから!



京王プラザホテル ファミリークラブ入口 面談室 サロン

春光懇話会ファミリークラブ

〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテル南館10階1050

TEL&FAX 03(3344)0410 family@mbr.sphere.ne.jp
受付時間 10:00~17:00 <http://www.shunko.jp/family/family.html>
定休日 火曜日・ウィークデーの祝日(土・日は常時オープン)



元気な地域

地域春光懇話会紹介

地域春光懇話会は国内に52か所、海外に27か所。地域の特長を生かし、幅広い活動を行っています。各地域の若手の方にも登場いただき、懇話会活動、地域自慢などご紹介します。

宮崎春光懇話会

事務局 損害保険ジャパン日本興亜 宮崎支店
 設立年月 1969(昭和44)年 会員会社数 12社

宮崎春光懇話会では毎年、総会、ゴルフ会、ビアパーティー、ボウリング大会、賀詞交歓会などを行い会員同士の交流を深めています。中でもビアパーティーは毎回大勢のみなさまに参加いただいています。ビール早飲みでは日頃の疲れを吹き飛ばすように一気に飲み切り、またビンゴゲーム、大抽選会では番号が呼ばれるたびに歓声とどよめきがおき、お目当ての賞品が当たるとひときわ大きな歓声が上がっています♪今後も会員同士親睦を深めながら、宮崎の地域活性に貢献すべく活動を続けてまいります。

活動内容!!



大抽選会での賞品贈呈



高千穂町観光協会HPより

「神話と伝説が宿る町」宮崎県高千穂町。ここ数年はパワースポットとしても多く取り上げられています。天岩戸神社、天安河原、高千穂峡、高千穂神社など。また、11月から翌2月にかけては夜神楽も奉納されます。夜神楽は期間限定となりますが、この他にも365日毎晩お楽しみいただける「高千穂神楽」もあります。高千穂の夜神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されています。みなさま、ぜひお越しください。この他にも海の幸、山の幸、美味しいお酒もありますよ♪

損害保険ジャパン日本興亜の外山久美さんに執筆いただきました。

会長から一言

宮崎春光懇話会では、年間行事などを通して、会員企業のみなさまとの親睦を深め、楽しく活動しています。宮崎は温暖な気候、美しい海、おいしい食べ物・焼酎……と、とてもよいところです。みなさま、ぜひ一度宮崎にお越しください。

日産サテリオ宮崎 代表取締役社長 平澤淳之助

お知らせ

●春光会 ○入会



酒巻 孝光
 UDトラックス社長
 1980年 日産ディーゼル工業(現UDトラックス)入社
 2018年 社長

好きな言葉 初心忘れるべからず

最近感動したこと テニスの全米オープンで優勝した大坂なおみ選手の会見が、日本人らしく謙虚で控えめなところに、親しみを感じた。
 埼玉県出身、63歳

○退会
 村上吉弘 (UDトラックス)

●代表者交替

○春光会会社
 UDトラックス 酒巻孝光←村上吉弘

●春光懇話会会員会社

○社名変更 (18.10.1)
 SOMPOリスクマネジメント←SOMPOリスケアマネジメント

○住所変更 (18.9.25)

・ハウスイ
 〒135-0061 東京都江東区豊洲6-6-3
 ☎03(6633)3300

●地域春光懇話会

○設立 (18.10.1)
 南アフリカ春光懇話会



南アフリカ春光懇話会が設立されました!

2018(平成30)年10月1日付で、海外27か所目の南アフリカ春光懇話会が設立されました。地域の特長を生かした、これからの幅広いご活躍を期待いたします。

事業所見学 日産化学 富山工場を訪ねて

会報編集委員では、9月28日(金)に2018年度事業所見学会を実施しました。今回は、日産化学のご協力をいただき、富山県富山市の日産化学富山工場を見学しました。編集委員、事務局合わせ総勢12名での開催となりました。

日産化学株式会社は1887年に創業した東京人造肥料会社が起源であり、日本最初の化学肥料製造会社です。昨年には創業130周年を迎え、今年7月には社名を日産化学工業から日産化学に変更しました。

富山工場は、1928年に設立され、敷地は南北に1400メートル、東西に500メートル、日産化学が持つ5つの工場(袖ヶ浦、埼玉、富山、名古屋、小野田)の中でも最大規模を誇ります。工場では、アンモニア系製品、硫酸などを中心とする化学品事業とディスプレイ材料や半導体材料といった機能性材料を製造しています。

また、敷地に隣接した土地には、日産バイオパーク西本郷という自然回帰を目的とした緑地を整備しています。ゲンジホタルやニホンメダカといった希少な生き物を飼い、地元の小学生に開放することで、地域住民との関わりにも力を入れています。その結果、2013年度には日本化学工業協会が主催するレスポンシブルケア大賞を受賞しました。

工場概要の説明後、広い敷地内をバスで移動しながらプラントを見学させていただきました。同社の化学品生産エリアでは、主原料である天然ガスからアンモニアを製造し、さらにそこから派生して各種化学品を生産するプラントを目の当たりにし、その機器の大きさやプロセスの複雑さに驚かされました。一方、機能性材料の生産エリアには、クリーンルームを備えた建屋と最新の機器が並んでおり、私たちが日頃利用しているスマートフォンといった、最先端産業の製品に採用されている液晶配向膜材料など、同社が世界で高いシェアを誇る高度な製品製造の一端を見せていただきました。

また、敷地内には戦禍を免れた建屋も現存しており、同工場の歴史を垣間見ることができました。見学後には1947年の昭和天皇のご訪問映像も視聴させていただき、当工場の歴史の深みをさらに感じさせるものでした。

全体を通して、この広大なプラントで、あたかも魔法のような工程操作でヒット商材を次々と生み出すサイクルに、ここで活躍のみなさまの高度な専門性と、モノづくりに対する真摯な姿勢を感じ取ることができました。

お忙しい中ご案内いただいた総務部のみなさまはじめ、本研修に際してご尽力をいただいた関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。



日産化学富山工場(2015年7月2日撮影)



総務部沖川さんによる概要説明



見学会参加メンバー

江戸当時の川や橋の名残りととどめる街 京橋

「京橋」という地名は、京橋川に架かっていた橋に由来するものです。日本橋から京に上る最初の橋であったことから「京橋」と名付けられたこの橋は、江戸時代に幕府が架橋したもので、日本橋、新橋に並ぶ位が高い橋であり、擬宝珠を据えることを許されたとのことです。

当社が所在する地は、古くは中央区宝町と称していましたが、1978(昭和53)年に住居表示が京橋に統合される形で変更されました。

また、当社の東側にはその昔に楓川が流れ、北に久安橋があります。久安橋も江戸時代に架けられた橋です。楓川は1964(昭和39)年には東京オリンピックのために首都高速道路として埋め立てられ、現在の姿となっています。

さて、当社は1947(昭和22)年にこの地に本社を構え(当時の商号は「日本舗道」、前本社屋は1963(昭和38)年に建設し、50年に亘り営業して参りましたが、老朽化に伴い、これからの時代に合ったオフィス環境構築を目的に2015年に新本社ビルの建設に着手いたしました。

新本社ビルは、当社と株式会社日本設計の共同設計により、当社とグループ会社大日本土木株式会社との共同企業体が施工しました。設計段階より新しい技術を積極的に採用し、災害に強い免震構造、BCP対策施設を備え、環境性能に優れたビルを目指し、環境性能においてはCASBEEのSランクを取得するに至りました。併せて今般の働き方改革も設計に採り入れ、従業員同士のコミュニケーションが活発に行われることを志向し、各階オフィスを内階段で繋ぐユニークなオフィス設計となりました。

新しいオフィスは隣接する久安橋公園との繋がりも意識した建物となっており、地域と共にこれからの当社の新しい歴史を作っていきたいと考えています。



▲新本社ビル(2018年6月竣工)



▲前本社ビル竣工時(1963年8月)



▲初代本社ビルより茅場町方面を臨む
(1960年 手前橋が久安橋)



▲新本社ビル オフィス風景

NIPPO 東京都中央区京橋1-19-11 ☎03(3563)6751